

こっこめ通信 02 2012

「じっくり観察したい！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

3月下旬まで植物公園内ではアスファルト舗装工事が行われています。この工事に伴い、園内で通行ができない箇所があります。下にある園内地図の黒い道が2月1日現在の通行止めになっている道です。また、道を横断する箇所も一部通行止めになっています。詳しい通行止めの箇所はホームページでもお知らせしています。工事中はご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて、今回は「シジュウカラの巣箱架け」「漁港にやってきた2種類の鳥」「カンムリウミスズメを見に行こう」についてのお話です。

シジュウカラの巣箱架け

1月28日に開催した八丈学講座で、シジュウカラの巣箱架けを行う予定でした。しかし、当日の寒さの影響が参加者がいなかった為、スタッフで観察用に植物公園内に4個の巣箱を設置しました。そのうち2カ所は、ビジターセンターの中にも見られる場所です。ビジターセンターでは毎年4～5個の巣箱を園内に設置していますが、すべて使われているわけではありません。使われない巣箱は、ミナミヤモリの卵がビックリするほど産んであったり、アリの巣になっていたり別の意味で楽しめます。

今年はシジュウカラが飛び回っている箇所に設置しているので、すべて利用してもらえる様な気がしています。シジュウカラが巣箱を利用し始めたらホームページでも紹介していきたいと思っていますが、公園にお越しの際はぜひ観察しに行ってみてください。

(あまり近づきすぎないようにお願いします)



巣箱の様子を見に来たシジュウカラ

何でシジュウカラ?

何でシジュウカラの巣箱なんだろうと思う人がいるかもしれません。実は巣箱を利用してくれる鳥は決まっています。鳥には木の穴(樹洞)などの隙間を巣とするものとうでないものがあります。穴を利用して巣を作る鳥だけが巣箱に入ってくれるのです。鳥ではシジュウカラの他にオーストンヤマガラ、アオバズクなどが樹洞を利用します。

この中で、園内にたくさんいて、さらに繁殖するシジュウカラの大きさに合わせた巣箱を作って、架けているわけです。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

漁港にやってきた2種類の鳥

12月30日、「洞輪沢港にウミスズメみたいな鳥がいるよ」と渡船をしていた宮崎岩一氏から連絡がありました。早速確認しに行くと、港の中でのんびり泳いでいる「ケイマフリ(写真下)」がいました。あまり警戒心が無く、係留ロープの近くまで寄ってくる事もありました。しばらく観察していると、港の中央で何度か潜水した後、口にカニをくわえて上がってきました。そのまま食べるかと思っていたら、器用に首を振ってカニの脚をもぎ取り、最後は体だけにした後、飲み込んでいました。ケイマフリが島で確認されたのは、約9年ぶりになります。



また、年が明けた1月19日、八重根漁港に行ってみると港の中央に、体が真っ黒で白いラインが目立つ鳥が1羽浮いていました。近づいてみると「ヒロードキンクロ(写真下)」でした。過去に島での記録はありましたが、ビジターセンターでは未確認でした。近くで釣りをしていた鳥好きの小学生の話によると、釣りの餌を狙って浮きに近づいて来たそうです。しかし、三日後に再度行ってみると姿はありませんでした。

もしかしてこの時期、海上にはたくさんの鳥たちが北からやってきているのかもしれませんが。その中からひょっこりと港に顔を出す個体がいるのでしょうか？もっと来てくれても良いのですがね。



カンムリウミスズメを探しに行こう

カンムリウミスズメという鳥を知っていますか？日本近海の海上で生活し、周辺の島嶼で繁殖をする小型の海鳥、八丈小島の小池根でも繁殖が確認されています。絶滅の危機に瀕して、推定個体数は約5千羽、多くても約1万羽といわれています。国の天然記念物や環境省のレッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類にも指定されているの

にあまり知られていません。

そのカンムリウミスズメを探しに行く「八丈小島探鳥クルージング」を日本野鳥の会の山本裕さんを講師に招き3月10日に開催いたします。夜には、講演会「天然記念物の海鳥・カンムリウミスズメの現状と保護」を開催して、この鳥をたくさんの人に知って頂きたいと思います。

詳しい行事内容はホームページで紹介しています。みなさんのご参加お待ちしております！

←ビジターセンターで配布しているカンムリウミスズメの塗り絵



②⑥

カンムリウミスズメ

カンムリウミスズメは天然記念物。
日本の海鳥だけで繁殖し、その数
約五千羽。
八丈小島近くの小池根でも毎年
数千羽が子育てをしている。

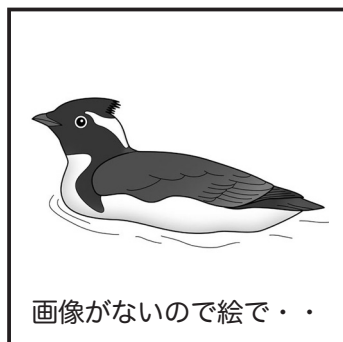
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今年１回目の調査は１月８日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 24 年第 1 回）参加者：菊池昭、金田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオツツラフジ	熟した実	1	イヌビワ	実
2	アオノクマタケラン	熟した実	2	オオバヤシャブシ	実と雄花の蕾
3	アシタバ	実	3	オオムラサキシキブ	実が残る
4	イワニガナ	花	4	ガクアジサイ	実
5	ウスベニニガナ	花と実	5	サカキカズラ	実
6	ウラジロチチコグサ	口ゼット	6	シマクサギ	実が残る
7	エダウチチヂミザサ	実	7	タイミンタチバナ	蕾
8	オオアレチノギク	実	8	テイカカズラ	実
9	オオバコ	乾いた実	9	トベラ	赤い種子が目立つ
10	オニタビラコ	花と実	10	ハゼノキ	落葉、実が残る
11	カタバミ	花と実	11	ハチジョウイボタ	熟した実
12	キツネノマゴ	実	12	ハチジョウキブシ	花芽
13	キランソウ	花	13	ヒサカキ	蕾
14	コセンダングサ	花と実	14	ヒメユズリハ	熟した実
15	コナスビ	花	15	ホルトノキ	落ちた実が目立つ
16	コマツヨイグサ	口ゼット	16	モチノキ	熟した実
17	サクユリ	種子が残る	17	ヤツデ	実
18	スイカズラ	熟した実	18	ヤブツバキ	花、盛り
19	ススキ sp.	実	シダ植物		
20	セイヨウタンポポ	花	1	ウチワゴケ	
21	センニンソウ	種子が目立つ	2	オオイタチシダ	
22	チチコグサ	口ゼット	3	オオタニワタリ	
23	チヂミザサ	実	4	オニヤブソテツ	
24	ツルソバ	花と実	5	カニクサ	
25	ツワブキ	花と実	6	タチクラマゴケ	
26	ナキリスゲ	実が残る	7	タチシノブ	
27	ハキダメギク	花と実	8	タマシダ	
28	ハチジョウアザミ	花と実	9	トラノオシダ	
29	ハチジョウシュスラン	実	10	ナチシケシダ	
30	ハナイバナ	花	11	ノキシノブ	
31	フウトウカズラ	熟した実	12	ハカタシダ	
32	ヘクソカズラ	実が残る	13	ハチジョウカナワラビ	
33	ムラサキカタバミ	花	14	ハチジョウシダ	
今回はシダ植物 18 種を含め、70 種の植物を観察しました。八丈島も本格的な冬を迎え、なんとなく急ぎ足になりがちな調査会でした。			15	ヒトツバ	
			16	ホシダ	
			17	ホラシノブ	
			18	マメツタ	
			19	ヤマイタチシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、周辺海域で見られる「カンムリウミスズメ」にスポットを当ててみたいと思います。



カンムリウミスズメ

Synthliboramphus wumizusume

ウミスズメ科の鳥で大きさは 24cm ほどと、とても小さな体をしています。嘴と背中の上は青灰色、目の上から首の後ろにかけて白く、夏羽には頭頂に黒い冠羽があります。繁殖の時は陸に上がりますがそれ以外は海上で生活をしています。海に潜って小さな魚を捕まえて食べます。八丈小島の小池根で繁殖が確認されています。

2012 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 09:55 03:04 18:11	2 11:05 19:35	3 04:02 07:32 12:57 20:36	立春 4 ガイドウォーク 04:21 09:13 14:14 21:23
5 ガイドウォーク 04:43 09:55 15:08 22:02	6 05:07 10:28 15:53 22:39	7 05:32 11:00 16:35 23:15	○ 8 05:59 11:32 17:17 23:50	9 06:25 12:06 18:00	10 06:52 00:25 18:44 12:42	11 ガイドウォーク 07:19 00:59 19:30 13:21
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 07:46 01:33 20:21 14:03	13 08:14 02:06 21:23 14:53	14 08:43 02:39 22:54 15:55	● 15 09:18 03:14 17:20	16 01:38 04:13 10:15 19:02	17 03:30 07:27 12:20 20:23	18 ガイドウォーク 04:08 09:11 14:06 21:20
雨水 19 ガイドウォーク 04:37 09:56 15:11 22:03	20 05:03 10:30 16:00 22:40	21 05:27 11:01 16:42 23:13	● 22 05:50 11:30 17:20 23:42	23 06:11 11:59 17:55	24 06:32 00:10 18:30 12:28	25 ガイドウォーク 八文学講座 「春探しホテル水路ウォーク」 06:52 00:37 19:05 12:59
26 ガイドウォーク 07:13 01:02 19:42 13:31	27 07:35 01:26 20:21 14:07	28 07:57 01:49 21:08 14:48	29 08:20 02:10 22:18 15:40			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

2/12（13:30～ 約1時間半）

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座

「春探しホテル水路ウォーク」

毎月行っている八文学講座。今月は、ホテル水路周辺へ春を探しに行きます。

2/25（13:30～ 約1時間半）

中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2012.2.1 第129号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

実はカムリウミスズメを見た事がありません。カムリウミスズメは市販のティッシュボックスと同じ大きさだということで、眼の前にあるティッシュボックスを見て、妄想を膨らましています。それは出会える日まで・・・続きます。（高）